



湖月抄

あ
ら
ま



九
文
庫

昔々 并田細 以秋為卷、名秋、何ぞぞここのとこ
 ついでに又とびりの根根と人やうがわん花以初并秋ニラズ
 此は名は初よいあることあり一物二名と細 保氏亦これの
 交あり且の并と花曰 愚按一後よあるごとく初め集れま
 たり

細桂川とび川桂川と
 右志府檢知葛野川ハ
 龜去今業堤川東の
 葛野川ハ桂川と
 輕 和名伊之不之 龜 曰
 花亭子院由集去つて
 ちのそのあまふとて
 らしてまのさあふか
 田やう中 二條よりうが
 だつたれをせわしやう
 とらんてせしむる
 へんてしむる

いしあつて日本のつら
 ろや季後よち初め釣
 釣よあつて思きま
 海とまひ初めらうと
 いして難射とせ
 まうとあり花名よ
 秀異
 細桂川とび川桂川と
 花西官去今業堤川
 右志府檢知葛野川ハ
 龜去今業堤川東の
 葛野川ハ桂川と
 輕 和名伊之不之 龜 曰
 花亭子院由集去つて
 ちのそのあまふとて
 らしてまのさあふか
 田やう中 二條よりうが
 だつたれをせわしやう
 とらんてせしむる
 へんてしむる

せりあてあらししてまつらるる

ひらびらして 飛水抄 細ひやうらうらあ

といたん 水飯 細今のせよあわけてひめとら物へ 飛干飯さぶの敷あつけ

盃ひめの飯をわくくして冷水とあわけて汁よて食ら

あつてあらししてまつらるる

細源何くまで六家流

へきしとあつらふよ

ごころあつらふよ

生微涼のあつらふよ

はを徳くは松煮あつらふよ

とくかろ物怪すのあつらふよ

かり和まき 夏梅凍り

ねいふあま徳とあつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

粟米の帯も入飯も暑はへし 細い物されどもあつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

あつらふよ

Handwritten text in a cursive script, likely a list or a collection of names.

Handwritten text, possibly a title or a specific entry.

Handwritten text, possibly a title or a specific entry.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

Handwritten text at the top of the left page, including a list of names and possibly a title.

Main body of handwritten text on the left page, consisting of several lines of cursive script.

こころのしづかきこころのしづかき
 ねりのあまのむねの 細 ねりのあまのむねの
 論の物も 細 ねりのあまのむねの
 のうら 細 ねりのあまのむねの
 細音のあまのむねの
 ふうのあまのむねの
 琴のあまのむねの
 徳のあまのむねの
 馬鹿のあまのむねの
 のあまのむねの

細 細 ねりのあまのむねの
 師 細 ねりのあまのむねの
 細 細 ねりのあまのむねの
 細 細 ねりのあまのむねの

こころのしづかきこころのしづかき
 ねりのあまのむねの 細 ねりのあまのむねの
 論の物も 細 ねりのあまのむねの
 のうら 細 ねりのあまのむねの
 細音のあまのむねの
 ふうのあまのむねの
 琴のあまのむねの
 徳のあまのむねの
 馬鹿のあまのむねの
 のあまのむねの

こころのしづかきこころのしづかき
 ねりのあまのむねの 細 ねりのあまのむねの
 論の物も 細 ねりのあまのむねの
 のうら 細 ねりのあまのむねの
 細音のあまのむねの
 ふうのあまのむねの
 琴のあまのむねの
 徳のあまのむねの
 馬鹿のあまのむねの
 のあまのむねの

こころのしづかきこころのしづかき
 ねりのあまのむねの 細 ねりのあまのむねの
 論の物も 細 ねりのあまのむねの
 のうら 細 ねりのあまのむねの
 細音のあまのむねの
 ふうのあまのむねの
 琴のあまのむねの
 徳のあまのむねの
 馬鹿のあまのむねの
 のあまのむねの


~~~~~

うてゝこの 果てりてい

大長はむせうしむみ大長  
のゆゑさうぶくはむせう  
かきかゝる ままむせうの  
らんじりてり花の  
庭根の夕良の上のよふとい  
つら山麓の煙やあつても  
のこのはむせうのこころ  
ゆゑと内々はよむせうに  
らひこの庭根ゆゑか  
こまりんさかへんむせう  
まゝのりてい <sup>はむせう</sup>  
ねの夜のかつてもむせう  
りくはむせうあつても  
ひびく <sup>ゆゑ</sup>  
果てはむせうのむせうかたぬ  
さくさくさく <sup>はむせう</sup>  
このりねてい <sup>はむせう</sup>  
~~~~~

Handwritten musical notation with Japanese annotations:
^{果てりてい}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~

Handwritten musical notation with Japanese annotations:
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~

山の庭根 <sup>はむせう</sup> <sup>はむせう</sup> <sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~

~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~

~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~  
<sup>はむせう</sup>  
~~~~~  
^{はむせう}
~~~~~

*Small handwritten note at the bottom left of the page.*

こころをいかにせんか  
 さも 益何れんか  
 け 兼上りていかにせんか

よき事のせむの せむ  
 の 御心を曲せしむ  
 御心は花散りの  
 御心を

らん人のあはれにす  
 ほのかにわかれし  
 人とすりてすれのみ  
 こそあつるのうら  
 まりんせむの戦務も  
 御心を  
 御心を曲せしむ  
 御心を  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

なほこの心をはりて  
御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

よき事のせむの せむ  
 の 御心を曲せしむ  
 御心は花散りの  
 御心を  
 らん人のあはれにす  
 ほのかにわかれし  
 人とすりてすれのみ  
 こそあつるのうら  
 まりんせむの戦務も  
 御心を  
 御心を曲せしむ  
 御心を  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ  
 御心を曲せしむ

御心を曲せしむ

御心を曲せしむ



よのめ... 仰山殿  
ふあつ... 仰山殿  
くわが... 仰山殿  
この... 仰山殿  
の内府の... 仰山殿  
同... 仰山殿  
これ... 仰山殿  
花... 仰山殿  
く... 仰山殿  
く... 仰山殿

とぞ...  
細肉...  
も...  
盃...  
再...  
仰山殿

よりて人にも  
仰山殿

お...  
花...  
わ...  
う...  
ま...  
あ...  
これ...  
う...  
又...  
相...  
そ...  
あ...  
い...  
あ...  
仰山殿

ぬ...  
仰山殿

よ...  
仰山殿

そ...  
仰山殿

ら...  
仰山殿

と...  
仰山殿

あ...  
仰山殿

と...  
仰山殿

の...  
仰山殿

これ...  
仰山殿

う...  
仰山殿

の...  
仰山殿

あ...  
仰山殿

い...  
仰山殿

あ...  
仰山殿

ゆ...  
仰山殿

仰山殿



さきさきよやくをたのむ  
原のいづれにありしは  
のくするれはは子のやうに  
りてするしとくはかみく  
かをみるしとくはかみく  
云かきしとくはかみく  
さきさきよやくをたのむ  
並みよやくをたのむ  
むしよやくをたのむ  
あまの  
まのりつえはかみく  
仰纏得給也かみく  
去アツのよやくをたのむ  
のらく

はこよやくをたのむ  
ふあつあつに  
りてするしとくはかみく  
云かきしとくはかみく  
さきさきよやくをたのむ  
並みよやくをたのむ  
むしよやくをたのむ  
あまの  
まのりつえはかみく  
仰纏得給也かみく  
去アツのよやくをたのむ  
のらく

孟侯の意をたのむ  
一とくはかみく  
あまのりつえはかみく  
仰纏得給也かみく  
去アツのよやくをたのむ  
のらく

わんばららら  
あまのりつえはかみく  
仰纏得給也かみく  
去アツのよやくをたのむ  
のらく

ついでに中よりいふなりとて  
内府の申すをいふ人をも  
わづらひの御座ると申すに  
物もついでに申すに申す  
用事なればいふなりとて  
ア

ついでに中よりいふなりとて  
内府の申すをいふ人をも  
わづらひの御座ると申すに  
物もついでに申すに申す  
用事なればいふなりとて  
ア

ついでに中よりいふなりとて  
内府の申すをいふ人をも  
わづらひの御座ると申すに  
物もついでに申すに申す  
用事なればいふなりとて  
ア

ついでに中よりいふなりとて  
内府の申すをいふ人をも  
わづらひの御座ると申すに  
物もついでに申すに申す  
用事なればいふなりとて  
ア

ついでに中よりいふなりとて  
内府の申すをいふ人をも  
わづらひの御座ると申すに  
物もついでに申すに申す  
用事なればいふなりとて  
ア



人々の心も... 盆りも... 内府の世...  
人々の心も... 盆りも... 内府の世...  
人々の心も... 盆りも... 内府の世...

ひくわ... 女房... 教訓...  
ひくわ... 女房... 教訓...  
ひくわ... 女房... 教訓...

中納言... 細...  
中納言... 細...  
中納言... 細...

よひ... 女房... 奥床...  
よひ... 女房... 奥床...  
よひ... 女房... 奥床...

梅...  
梅...  
梅...







ひさうでそらろよ内府の子と定てぶらうの人とびんまひらんよ本庄のさひひの兵房

運もはやくよえてしんろく人うろく人うろく人うろく内府の子と定てぶらうの人とびんまひらんよ

あんとし又着つはふに又付て誰おくれちるらん  
とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

飲食 巻終

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア

とらうすもさし人も  
まづねん人も人中に  
アアアアアアアアアア









花さうくゆつ...  
 折へ 夢 花は女侍乃  
 御之は...  
 曲...  
 つめて...  
 花...  
 山...  
 さ...  
 えに...  
 せ...  
 り...  
 五...  
 五...  
 え...  
 う...  
 中...  
 の...  
 何...  
 く...  
 う...  
 う...  
 孟...  
 ろ...  
 ろ...  
 孟...  
 つ...  
 も...  
 わ...  
 え...  
 ひ...  
 う...

う...  
 う...  
 わ...  
 ひ...  
 う...  
 う...  
 ろ...  
 ろ...  
 孟...  
 つ...  
 も...  
 わ...  
 え...  
 ひ...  
 う...

り...  
 ゆ...  
 り...  
 ろ...  
 と...  
 わ...  
 り...  
 と...  
 を...  
 め...  
 り...

ひ...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...  
 う...

孟...  
 う...  
 命...

孟...  
 う...  
 命...

わすれん 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲

曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲  
曲 曲 曲 曲 曲

